

レッスン 1: 移動性および移動に関するさまざまな問題

- 移動性とは、自由かつ容易に移動して回れる能力のことです。できる限り高い移動性を保つことは、良好な健康、インクルージョン、参加のためにたいへん重要です
- 移動支援製品は、移動に困難があるあらゆる年齢層の人が利用し、以下の役に立ちます:
 - 座り、立ち、歩き、転倒を防ぐために役立つ支えを提供する
 - 歩けない人にさまざまな移動手段を提供する
 - 本人が自分の環境にアクセスできるよう支援する
 - 健康条件の管理や予防を補助する
- 移動が困難になるのは、例えばケガや創傷、虚弱さやフレイル、痛みや硬さ、麻痺、下肢切断、バランスや協調運動の乏しさ、感覚の低下など、多くの理由によります
- 足部創傷とは、足の皮膚がどこか破れることです
 - 足部創傷からの感染は重大で、下肢切断や死につながる場合があります
 - 下肢切断は多くの場合、足部創傷の予防や負傷時の手当てによって避けられます
 - 次のような健康条件がある人は足部創傷の危険が大きくなります: 足の感覚（防御感覚）の喪失、血流の低下、足の形の異状、足指や足の切断

レッスン 2: 移動支援製品

- TAP の製品モジュールで取り上げるのは、教習を受けた職員と最小限のリソースによって地域でただちに供与できる、以下のかんたんな支援製品です

製品	製品が役立つ人:
歩行支援用品: 歩行杖、クラッチ、松葉杖、歩行器、歩行車が含まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩けるが、安全に、または長距離を歩くには追加の支えが必要な人 ● 歩けるが片脚にしか体重をかけられない、例えば下肢を切断した人や脚をケガした人
可搬式スロープ とは一か所に固定されないスロープ。	<ul style="list-style-type: none"> ● 車椅子、歩行車、歩行器を使い、 ● 少数の段差がある場所へのアクセスが必要で、 ● 可搬式スロープを持ち上げられる力があるか、その介助が得られる人
手すり は力が弱いかバランスが乏しい人が、ある位置	<ul style="list-style-type: none"> ● 寝室、浴室、トイレ、段差での動作時に追加の支えが必要で、

製品	製品が役立つ人:
から別の位置へ動くのを支える。	<ul style="list-style-type: none"> 片手または両手でつかまることができる人で、 かつ、家や公共スペースに手すりの設置が可能な場合
移乗板 は場所から場所への移動を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> 安全に立ち上がる、または脚に体重をかけるのが困難で、 場所から場所への移動に他人の補助が必要な人
治療靴 は足を保護して支える特別な機能を備えた靴。	<ul style="list-style-type: none"> 足部創傷が発生・悪化する危険がある人

- 移動支援製品には、専門的教習を受け、特化したリソースを備えた職員を置くサービス事業所が供与しなければならないものもあります。こうした製品は TAP では取り上げていません。その例は車椅子とクッション、義足、下肢装具、後方支持型歩行器、立位台、臥位支持具などです

レッスン 3: 移動支援製品スクリーニングのやり方

- 移動性スクリーニングフォームを用い、移動に問題がある人に以下が有益かどうかを見出します:
 - 移動支援製品
 - 他の種類の支援製品
 - 他のサービスへの紹介・相談
- このフォームは以下の 6 部分からなります:
 - 本人に関する情報
 - 移動性と健康の危険かんたんチェック
 - 急激に移動性を失った人は保健医療サービスへ紹介・相談
 - 2 歳以上で歩けない子どもはリハビリテーションサービスへ紹介・相談
 - 転倒の危険がある人は支援製品が必要か、リハビリテーションサービスへ紹介・相談
 - 褥瘡がある人には助言を与え、保健医療サービスへ紹介・相談
 - 以下の危険指標が該当する人には足部スクリーニングを完了し、**および**、まだ日常的に保健医療サービスを受けていなければ保健医療機関へ紹介・相談:
 - 糖尿病、ハンセン病、心臓および/または腎臓の疾患
 - 足/脚の創傷、ケガや腫れ、および/または四肢切断
 - 過去の足部創傷
 - 喫煙、大量の飲酒、しばしばはだしで歩く
 - 足部スクリーニング (足部スクリーニングの手引きプリントを参照)

4. 移動支援製品かんたんスクリーニング質問
5. 他の移動支援製品
6. 計画、その内容は:
 - 場合により他種の支援製品（視覚、聴覚、セルフケア、コミュニケーションや認知を補助する）へのスクリーニング
 - かんたんな支援製品の事前評価
 - 足部ケアおよび適切な靴について本人に教える
 - 他のサービスへの紹介・相談
 - いつフォローアップが必要か判断し、理想的にはフォローアップの面接予約を入れる